

■必要なものを必要なだけ買う

私たちは、毎日のように食品を購入しています。昔と違い現代は冷蔵庫が普及し、各家庭に冷蔵庫が設置されているからです。平成 11 年、財団法人省エネルギーセンターが調査をしたところ、毎日 3 割の世帯が食べ物を捨てていました。種類別にみると、特に「野菜・くだもの」「主食類」「惣菜・おかず」がよく捨てられています。

また主な廃棄の理由は「賞味期限切れ」「腐敗」「時間がたちすぎて食べる気がしなくなった」等です。冷蔵庫に入れただけで安心し、そのうちに食べようと思っていて忘れる、が主な原因のようです。

平成 12 年、農林水産省が食品ロス率(調理くずは含まないもの)を調査したところ、宴会、特に結婚式の食品廃棄量が最も多く、全体の 27%になることがわかりました。

必要なものを必要な量だけ買うことで、食品の廃棄を減らせます。また冷蔵庫に本来保存しなくてもよいものや、詰めすぎないことが省エネルギー対策になります。

今回は得に食品についてレポートしましたが、他にも「安い」と衝動買いしてしまい、結局使わずに捨ててしまった経験を持っている人は多いと思います。

買い物は計画的に「必要なものを必要なだけ買う」が、グリーンコンシューマーとしての生活実践となるのです。